

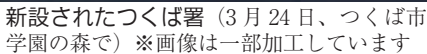








## つくば警察署 3月2日開設



つくば市ではこれまで、旧筑波町と旧大穂町を管轄する北署と筑波キャンパスなどそれ以外の地区を管轄する中央署の2署が配置されていた。だが、北署は60人体制と小規模で、夜間や休日などの捜査体制が支

（森賀遼太、写真も）

建物には鉄筋コンクリート造り5階建て、延べ床面積は約5600平方メートル。工事は約30億円。敷地面積は約2万平方メートル。県内警察署で最大となる。駐車場は約380台分。そのうち約給油場も設けた。

くば署の菅原一記・副は「今までと変わらず、は市の治安維持に貢献い」と話した。

建物のコンセプトは「県民が利用しやすい庁舎」。1階には総合窓口と免許更新窓口を設置した。2階の新窓口に設置した。会場には72点の作品が展

17年には、東京五輪・パ  
リンピックに向けて、茨  
城の魅力を国内外に発信す  
る「茨城県文化プログラム

**前筑波大附属病院長**



立医療大（茨城県阿見町）の学長に就任した。永田博司・前学長の任期満了に伴うもので、任期は2024年3月までの4年間。

松村氏は1980年に筑

波大医学専門学群（当時）を卒業。2004年から今年3月末まで筑波大教授。この間、14年から18年までは筑波大附属病院長も務め

松村氏は16年に「第2期茨城県立医療大学改革プラン」の作成に携わり、昨年2月からは同大運営協議会の委員を務めていた。

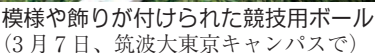
めの再教育を充実させた。医工連携を推進し、教育と研究の両面を強化したい」と抱負を語った。

に開学した。看護・理学療

法・作業療法・放射線技術  
科学の4学科と大学院の医学  
健康療科学研究科からな  
り、付属病院も持つ。  
(西村大祐、写真も)

(西村大祐、写真も)

# リボン・アートボール展



大日孁尊に師範音の皇子  
長を務めており、「ボール  
がぼろぼろになるまで練習  
しているアスリートへのリ  
ベクトの気持ちを込めて  
ノートボールを作ってい  
る」と話した。(廣間菜月11  
比較文化学類2年・写真も)

おことわり

石名簿を掲載してましたたは別刷  
2007年度からは別刷  
ツツが、今年度から掲載を  
取りやめました。個人情報  
保護の重要性の高まりを踏  
まえ、編集部内や関係各所  
と熟慮を重ねた上での判断  
です。ご了承ください。

引き続き筑波大学新聞を  
愛読くださいますようお願い  
申し上げます。

筑波大学新聞

# 新任人事

長＝臼山利信（人社系）  
 【附属中学校長】 附属中学校長＝佐野淳（体育系）▽附属駒場中学校長＝北村豊（生環系）▽附属高等学校長＝藤生英行（人間系）▽附属駒場高等学校長＝北村豊（生環系）▽附属聴覚特別支援学校長＝伊藤僚幸▽附属大塚特別支援学校長＝川間健之介（人間系）  
 【総合学域群】 学域群長＝山中弘▽第1類長＝青柳悦子（人社系）▽第2類長＝中谷清治（数物系）▽第3類長＝松井圭介（生環系）▽アカデミックサポートセンタール長＝加賀信広（人社系）  
 （国経）理工情報生命学術院 数理物質科学研究群（数物群）数学学位プログラム（数学P）物理学学位プログラム（物理P）化学学位プログラム（化学P）応用理工学位プログラム（応理P）国際マテリアルズイノベーション学位プログラム（マテリアルP）▽システム情報工学研究群（シス情工群）社会工学位プログラム（社会P）サービス工学位プログラム（サ工P）リスク・レジリエンス工学位プログラム（リスクP）情報理工学位プログラム（情理P）知能機能システム学位プログラム（システムP）フロンティア医

組織の略称

【学群・学類・学士課程学位プログラム】(人文・文化学群) 人文学類(人文・比較文化学類(比文)) 日本語・日本文化学類(日語)(社会・国際学群) 社会学類(社会学) 国際総合学類(国際(人間学群)教育学類(教育)心理学類(心理)障害科学類(障害)生命環境学群生物学類(生物)生物資源学類(資源)地球学類(地球)(理工学群)数学類(数学)物理学類(物理)化学類(化学)応用理工学類(応理)工学システム学類(工シス)社会学類(社工)(情報学群)情報学類(情科)情報メディア創成学類(メ創)知識情報・図書館学類(知識)(医学群)医学類(医学看護学類(看護)医療科学類(医療)▽体育専門学群(体専)▽芸術専門学群(芸専)▽グローバルワイルド情報学プログラム(EI情報情報)学位プログラム(LI情報情報)ライフインベーション(生命科学)生命科学学位プログラム(生物P)生物資源科学学位プログラム(資源P)農学学位プログラム(農学P)生命農学学位プログラム(生農P)生命産業科学学位プログラム(生命産業P)地球科学学位プログラム(地科P)環境科学学位プログラム(環科P)環境科学学位プログラム(環境P)山岳科学学位プログラム(山岳P)ライフインベーション(食料革新)学位プログラム(LI食P)ライフインベーション(環境制御)学位プログラム(LI環P)ライフインベーション(生体分子材料)学位プログラム(LI材P)国際連携持続環境科学専攻(連携持続)際系)

ヒューマンバイオロジー学位プログラム(HBP)ライフインベーション(病態機構)学位プログラム(LI病P)ライフインベーション(創業開発)学位プログラム(LI一薬P)スポーツ国際開発学共同専攻(スポ国)大学体育スポーツ高度化共同専攻(大学体育)国際連携食料健康科学専攻(連携食料▽グローバル教育院(G教)ヒューマニクス学位プログラム(HNP))

【系】人文社会科学(人社系)ビジネス系(ネササイエンス系)数理科物質系(数物系)システム情報系(シス情系)生命環境系(牛環系)人間系(人間系)体育系(体育系)芸術系(芸術系)医学医療系(医学医療系)図書館情報メディア系(図情メ系)学際研究系(学際研究系)

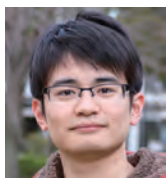
◆おじやち

今年度から筑波大学院の組織は再編され、学位プログラム制に移行しますが、昨年度以前に入学した学生は従来の研究科・専攻に所属します。従来の研究科・専攻の略称は本紙第348号掲載のものを使用します。また、紙面スペースの都合上、新設された学位プログラムリーダーと、既存の研究科・専攻の新任人事を省略しました。

其の著作 金不台明の三才方



# 記者の声



秋田耕平

基つき2年生以降の所属が決まる。いずれの区分で受験しても24学類・専門学群全てに進む道が開かれているのが特色だ。

永田恭介学長は入学案内で

## 入試改革 学生支援の体制づくりは急務 調査書の点数化は見直しを

筑波大の学群入試改革まで1年を切った。学類の枠を越えて選抜する「総合選抜」と、受験生の「調査書」を点数化して合否判定に利用する「主体性評価」の二つが柱となる。今回の改革に伴う課題を整理してみたい。

総合選抜は体育専門学群を除く24学類・専門学群が参加する。受験科目が異なる「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」の4区分で実施し、全入定員の2割となる計413人を募集する。

「自らの知的好奇心に任せて様々な専門領域を学修し、確かな未来に向けて、『学び』を主体的に計画したいと考える方」のための入試。だと述べている。

「自らの知的好奇心に任せて様々な専門領域を学修し、確かな未来に向けて、『学び』を主体的に計画したいと考える方」のための入試。だと述べている。

「自らの知的好奇心に任せて様々な専門領域を学修し、確かな未来に向けて、『学び』を主体的に計画したいと考える方」のための入試。だと述べている。

類似の総合入試制度を実施している北海道大を3年前に取材した。同大は「ラーニングサポート室」を設け、教員4人と博士号を持つ専門職員4人、大学院生のティーチング・アシスタント十数人が学生の進路相談や学習支援に当たっている。

筑波大もクラス担任や各学類から選ばれる教員が学生に助言

い。学生が履修科目を組み立て際の公平性を保つためにも導入を急ぐべきだ。

「座右の銘」。それは、己の心の中にある戒めや励まし

【座右の銘】それは、己の心の中にある戒めや励まし

【座右の銘】それは、己の心の中にある戒めや励まし

【座右の銘】それは、己の心の中にある戒めや励まし

# 筑波時評

裁判員制度は、2009年5月から始まりましたので、去年10年を迎えたことになりました。裁判員裁判とは、地方裁判所で行われる第一審の刑事裁判

## 裁判員制度 メリットもあるが負担大 刑事裁判の大原則理解を

従来の刑事裁判では、検察官が立証に必要と思われる証拠対象となるのは、例えば、殺人

### 根本 信義 教授 (裁判実務)



人文社会系・教授。上智大学法学部卒。学士(法学)。1996年に弁護士登録を行い、茨城県弁護士会会長を務める。2006年より現職。

1カ月に1回程度の審理を開いて尋問を繰り返して、それが何カ月か続き、裁判官が最終的に判断するという形でした。

さらに、裁判員に短期間で裁判を終えてもらうために事前準備が必要になります。そのため

【心理2年・男性】生活が不規則になりがち

【心理2年・男性】生活が不規則になりがち

【心理2年・男性】生活が不規則になりがち

【心理2年・男性】生活が不規則になりがち

【心理2年・男性】生活が不規則になりがち

た供述調査とか、警察がまとめた捜査報告書のような書類を比較的多めに提出してしま

件でも、基本的には連続した5日ぐらいの期日で、法廷の場

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと

【云専2年・女性】決めたこと



イラスト＝大森春歌(芸術専門学群3年)

【大器晩成】昔、占いに言われた。

【大器晩成】昔、占いに言われた。

【大器晩成】昔、占いに言われた。

【大器晩成】昔、占いに言われた。

# 反射鏡

## 座右の銘

自分が笑顔でいれば、周りの人達も嫌な気持ちにはならないから。

【電物2年・女性】「足るを知る」

【電物2年・女性】「足るを知る」

【電物2年・女性】「足るを知る」

【人文2年・女性】「人生、今が一番若い」

【人文2年・女性】「人生、今が一番若い」

【人文2年・女性】「人生、今が一番若い」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」

【理工3年・男性】「人に生かされて人生、人を生かして人生」



卒業・修了制作展

## 『太学生生活の結晶』集う

### 日本画や書など 233点展示

筑波大の「令和元年度芸術専門学群卒業制作展／博士前期課程修了制作展」が2月4日から3月1日に茨城県つくば美術館（つくば市吾妻）で開かれた。

学群生、大学院生が制作や研究に取り組んだ成果を披露する集大成の場で、日本画や洋画、書、環境デザインなど160人計233点の作品・研究が4期に分

けて展示された。会場は4000人を超える来場者でにぎわった。

2月26日から3月1日に開かれた修了制作展後期では、デザイン学領域群の修了生24人が出品。一部屋全体を作品に見立てた総合造形や木工・ガラスなどクラフト作品、新しいフォント文字、都市空間デザインなど多彩な作品が並んだ。



安部さんの作品「継ぐ、ということ」  
（2月28日、つくば美術館で）

産業、廻船業で栄えた。今も、しっくい壁に平瓦を並べて張った「なまこ壁」と呼ばれる伝統的な壁面を持つ建物が多く残る。

安部さんは、松崎町を地方と都市の二つの学校が一つの学校のように活動をすすめる「デュアルスクールの舞台」と位置づけ、なまこ壁の建物を宿泊施設や工房、学習や食育の場とするプランをまとめた。「古い建物を活用することで、むしろ後世に残すことができる」と考えたという。

## 津軽三味線倶楽部 無絃塾 迫力ある演奏で観客を魅了



「津軽じゃんがら節」を披露する塾生ら（2月24日、ノバホールで）

語りや100人以上での合奏などにより、各地の民謡から誰もが知るポップスまで幅広い演目を披露し、会場は大いに盛り上がった。

筑波大学津軽三味線倶楽部無絃塾の第22回卒業公演が2月24日、ノバホール（つくば市吾妻）で開かれた。2部構成で17曲が披露され、1000人以上が今春卒業する塾生の最後の公演を彩った。

無絃塾では、津軽三味線に加え、舞踊や琴、民謡など、幅広い伝統芸能を身につける活動をしている。卒業公演でも、三味線の弾き

部無絃塾の第22回卒業公演が2月24日、ノバホール（つくば市吾妻）で開かれた。2部構成で17曲が披露され、1000人以上が今春卒業する塾生の最後の公演を彩った。

「部最後にはオリジナル曲「風の詩」が披露された。和太鼓により力強く始まり、中盤では和太鼓と40丁の津軽三味線による力強い響きにキーボードの優美な音色が融合し、一段と盛り上がりを見せた。人生に吹く追い風や向かい風などを、迫力ある演奏で表した。公演を締めくくったのは

田中作曲曲の「ビビッドタイムズ カルテット」。曲は軽快な手拍子から始まり、マリンバとシロフォンの音色が曲調に華やかさを与えた。その後、ティンパニやシンバルなど定番の打楽器に加え、ドレミパイプなど珍しい打楽器も相次いで登場した。ドレミパイプはプラスチックでできた管状の打楽器で、管の長さによって違う音階が出る。終盤に向け、演奏に手拍子と力強い足踏みの音が加わり、疾走感が演出された。一度音が止んだ後に団員がドレミパイプを頭でたたき、パイプを上突き上げるお茶目なパフォーマンスで曲は終わった。

団長の長津舞さん（図情×2年）は「異なるサークルに所属する学生や社会人のメンバーが集まるため練習日程の調整に苦心した。例年より観客が増え、うれしかった」と話す。（遠子内早紀）

## CAIR2020 海外の美大生と作品を制作

ト、芸術系が2月12〜20日に体芸エリアで開かれた。海外から招いた作家に一定期間滞在してもらい、制作と展示を行う欧米発祥のプログラムを参考にした企画で、筑波大での開催は昨年に続き2回目。



共同アトリエで各々に作品を制作する学生ら  
（2月19日、アート&デザイン実習室1で）

り、制作を通して交流を深めた。出来上がった作品は19日から総合交流会館で展示され、約1000人が足を運んだ。

展示初日には、作者が自身の作品に込めた思いを語るアーティスト・トークが

あり、各々が題材とした過去の記憶や社会問題などについて英語で語り合った。沼野千秋さん（芸術×3年）は、平仮名とアルファベットの関係性に着目し、「a」と「あ」など、同音の平仮名とアルファベット、どちらにも見える文字を50個デザインした。沼野さんは普段の制作と違い、自分の制作や意図について他人に伝える機会が多かった。（コ

ンセプトに）共感してもらえたり意見をもらえたりして、制作過程で影響を受けたと話した。

CAIR2020のウィングチーム代表の眞輪佳奈恵・特任助教（芸術系）は学生たちから出た前回の反省を踏まえ、ペアンシステムやアトリエに集まる場を導入することで、アーティスト同士が交流し、作品を生み出すことができた」と語った。（大森春歌）

共同アトリエで各々に作品を制作する学生ら（2月19日、アート&デザイン実習室1で）

り、制作を通して交流を深めた。出来上がった作品は19日から総合交流会館で展示され、約1000人が足を運んだ。

展示初日には、作者が自身の作品に込めた思いを語るアーティスト・トークが



### 和氣 愛仁 准教授 （日本語学・人文情報学）

人文社会系・准教授。筑波大学大学院文芸・言語研究科博士課程修了。博士（言語学）。一橋大学総合情報処理センター助教などを経て、2009年より現職。

が、授業を履修するうちに言葉の面白さにひかれるようになり、2年次から日本語学コースを希望。それから多くの先生方との出会いがあり、大学院に進学。

そんなわけで、日本語学を専門としつつ、業務としてサーバーやネットワークの管理をし、さらに大学関係者には隠すようにして演奏活動をしているという時期が長く続いた。教員になってからも、自分は日本語学で生きているか悩むはなめのだと思ひ込もうとしていた節がある。ところが、仕事でまず評価されるのはコンピュータ。そして一番古くから続けている音楽はあいかかわらず裏の趣味。分裂した自意識。

しかし、あがけば先が見えてくるということも確かにあるようで、筑波大に着任した頃、人文情報学という研究分野があることを知る。それまで別々だった言語研究とコンピュータ技術が繋がっ



つくば市桜で廣間葉月撮影

## 俳句 筑波大

いぬふぐり蛇口の下のくぼみあり  
風は春 齊あたり落ち着いて  
ものかげに池の収まる春彼岸

つくば市桜の「反町の森公園」付近を散策。草一つなかったはずの田んぼもいつの間にか薺などの花で淡く満たされていた。（吉川創揮）

今号からは、筑波大周辺を散策して俳句を詠みます。俳句は昨年度に引き続き、筑波大生で俳人の吉川創揮さんが担当します。

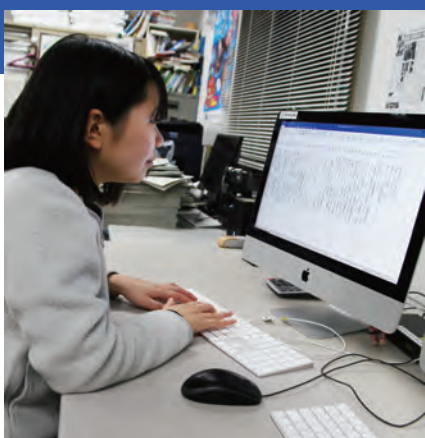


# 新人記者募集中！



INTERVIEW  
聞く

TAKE PICTURES  
撮る

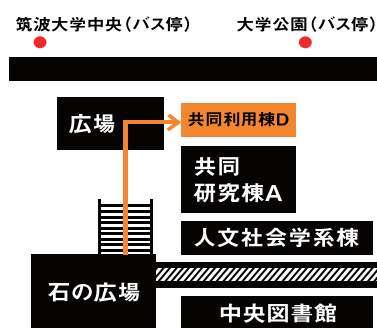


WRITE  
書く

毎週月曜の午後 6 時 30 分から、編集室（共同利用棟 D104）で「編集会議」を行っています。見学も可能です。

活動内容については Twitter など公式 SNS で発信していきます。

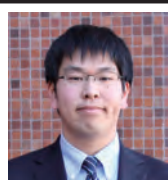
TEL : 029-853-6699  
MAIL : shinbun@un.tsukuba.ac.jp  
Twitter : @ut\_shimbun



## 誰もが活躍できる編集部

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。学おめでようございます。そして、筑波大学新聞を手にとってご覧いただき誠にありがとうございます。

筑波大学新聞は年に 7 回、各 2 万 1000 部（新入生歓迎号に当たる今号は約 4 万 1500 部）発行している筑波大の広報紙です。記事の執筆のほか、紙面作りなどほぼ全てを学生の記者が担当しています。ご覧いただいた通り、大学内の話題や学芸、研究などにも「事実」を求め、取材します。



編集長  
西村大祐

昨年 9 月には先進的な大学スポーツの取り組みについて取材するため、英国に渡りました。言語の壁があ

りながらも、英語で取材を敢行しました。

「新聞なんて書いたことのないし、文章力にも自信がない……」。みなさんはそう思われるかもしれません。でも、心配はいりません。大学に入ってから記者になり、記事を書いている編集部員がほとんどです。元全国紙記者の編集代表から指導も受けられます。また、新聞作りは記事を書くだけではなく、イラストを描いたり、紙面構成を考えたり……。その、業務内容は多種多様。きっと、あなたも活躍できるはずです。まずは、編集室の扉を開いてみませんか。編集部員一同心よりお待ちしております。

（人文学類 3 年）

## 「新聞」は古くて新しい

インターネットの発達で、誰もがいつでも情報を発信し、受け取ることができる時代となりました。

でも、その情報はどれほど信頼できるものでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大を巡っては、「マスクと原料は同じ」という誤情報が SNS で拡散し、トイレトペーパーの買い占め騒ぎが起きました。そんなフェイクニュースに踊らされない情報リテラシーを身に着けたいなら、ぜひとも筑波大学新聞の門戸をたいてほしいと思います。

1 月に発行した 354 号では、電力の小売り自由化で、誰もがいつでも情報を発信し、受け取ることができる時代となりました。でも、その情報はどれほど信頼できるものでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大を巡っては、「マスクと原料は同じ」という誤情報が SNS で拡散し、トイレトペーパーの買い占め騒ぎが起きました。そんなフェイクニュースに踊らされない情報リテラシーを身に着けたいなら、ぜひとも筑波大学新聞の門戸をたいてほしいと思います。



編集代表  
鴨志田公男

1 月に発行した 354 号では、電力の小売り自由化で、誰もがいつでも情報を発信し、受け取ることができる時代となりました。でも、その情報はどれほど信頼できるものでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大を巡っては、「マスクと原料は同じ」という誤情報が SNS で拡散し、トイレトペーパーの買い占め騒ぎが起きました。そんなフェイクニュースに踊らされない情報リテラシーを身に着けたいなら、ぜひとも筑波大学新聞の門戸をたいてほしいと思います。

新入生の皆さん、ぜひ、編集部においでください。（筑波大教授、元毎日新聞論説委員）



# T-ACTで活躍する筑波大生

筑波大には、学生の「やってみたい」を応援する独自のプログラム「T-ACT」(つくばアクションプロジェクト)がある。その中でも学生が立案し、実行する「T-ACTアクション」には、毎年ユニークな企画が集まる。新しいことを始めるにはびびりな4月。昨年度にT-ACTの支援を受け、自分の「やってみたい」を実現した4人に話を聞いた。(北川瑠菜Ⅱ比較文化学類、中村瑞歩Ⅱ日本語・日本文化学類、國井俊介、後藤佳怜Ⅱ社会学類、遠子内早紀Ⅱ教育学類)

## T-ACTとは

「T-ACTの活動には3種類ある。▽学生が企画、立案し、主体となって活動する「T-ACTアクション」▽教職員が立案し、学生とともに企画を進める「T-ACTプラン」▽地域活動団体が学生をボランティアとして募集する「T-ACTボランティア」だ。昨年度は「T-ACTアクション」に51企画の申請があり、37企画が承認された。申請数・承認数ともに「T-ACTプラン」は4企画、「T-ACTボランティア」は31件だった。

T-ACTの活動には3種類ある。▽学生が企画、立案し、主体となって活動する「T-ACTアクション」▽教職員が立案し、学生とともに企画を進める「T-ACTプラン」▽地域活動団体が学生をボランティアとして募集する「T-ACTボランティア」だ。昨年度は「T-ACTアクション」に51企画の申請があり、37企画が承認された。申請数・承認数ともに「T-ACTプラン」は4企画、「T-ACTボランティア」は31件だった。

卓哉助教は「T-ACTの活動を通じて、自分で考えて実行するという『企画力』がまず身につく。そのプロセスも、座学では体験

## ◆藤野真帆さん(目4年)

昨年12月に「Tsukuba Mikoshi Club」を始めた。筑波大生を対象に、各地の祭礼に参加して神輿を担ぎ、日本文化に親しむきっかけづくりをしている。普段は週に一度、鉄パイプを組み合わせた模擬神輿を担ぎ、掛け声や動きを合わせる練習に取り組んでいる。

## 神輿を担ぎに全国各地へ



メンバーとともに「建国祭 奉納神輿パレード」に参加した藤野さん(右から3人目) = 本人提供

企画のきっかけは、藤野さんがスロベニア留学中、日本の祭礼の普及活動を行っていた一般社団法人「明日神」の宮田宣也・代表理事と、日本文化の紹介イベントで偶然出会ったこと。宮田さんは、少子化で神輿の担ぎ手が減少するなか、全国各地の祭礼を支援するボランティア活動をしている。宮田さんの活動に興味を持ち、自分も地域の祭礼の課題解決に貢献したいと考え、神輿担ぎなどの日本文化を体験し、広めるから始めた。自分の好きな祭礼の課題解決に貢献したい」と話す。2月11日に明治神宮(東京都渋谷区)で行われた「建国祭 奉納神輿パレード」に初参加し、活動が本格化した。

## ◆藤井七彩さん(資源3年)

将来の夢は食品の商品開発をすること。実現に向けて大学生のうちに商品開発の経験を積もうと、昨年9月に「Tsukuba X Sweet's Project 2」を作った。

目指したのは、つくば市の企業と協力して市にちなんだ菓子を開発し、販売すること。また、その過程で商品開発に関する知識と経験を身に付けることだ。

だが、実際に活動を始めると、協力してくれる企業探しに苦労した。地元の子会社社に話を持ちかけたが、人手不足や繁忙期の



将来の夢にむけて食品開発を企画した藤井さん(3月19日、5C棟で) = 遠子内早紀撮影

企業が多く断られた。ようやく相手先の企業が決まったのは今年1月。「自分たちの挑戦を社会的に認めたスイーツを提案した。この企画のモデルとなったのは2017年に藤原優人さん(資源1年)が設立した、T-ACTのプロジェクトだ。つくば産のブルーベリーなどを使ったスイーツを開発し、商品化につなげていた。高校生の時にこの活動を知り、入学後に参加した。しかし、企画の大半はその時点で終了。商品開発には関与できず、不完全燃焼に終わった。その後、藤原さんにも相談した上で、企画を再スタートした。

有志による学生団体として活動するより、大学の承認を得た企画として活動することで信頼性を目指している。

## 企業と協力して食品開発

今後は企業と商品の具体的な中身を詰め、11月の筑波大学園祭(雙峰祭)で販売することを目指している。

## メイクの「楽しさ」を発信



「メイクの楽しさを広めたい」と意気込む青木さん(3月23日、2B棟で) = 北川瑠菜撮影

人に声をかけたことがきっかけで開催に至り、約30人が参加した。こだわりが詰まったプレゼンを聞き、自分もメイクについて発信したいと感じた。

昨年12月開催の第2回は「つくばメイク」ではその活動を引き継ぎ、化粧品コンプレックスを感じる部分に詳しく、メイクを施すや、参加者にメイクを施す実演講座などを盛り込んだイベントの開催を計画している。おすすめ化粧品やメイク術の紹介など、メイクに関する情報もツイッターで発信する。

## ◆芹川聖頼さん(修教2年)

コーヒーの味は豆のひき方や焙煎の度合いによって異なる。その時の気分や状況によって、飲みたいコーヒーの味わいも変わる。最適な一杯をどうすれば探し出せるのか。



コーヒーをいれながら、その魅力を語る芹川さん = 本人提供

4分、5分に分け、12タイプのコーヒーを提供した。そして、約230人の来場者に▽どんな時に飲みたいか▽誰にすすめたいか▽もう一度飲みたいか――などを聞いた。

「筑波大には自分らしいメイクを楽しむ人が少ない」と話す。次回回は、新入生に焦点を当てたイベントを考えている。初心者向け化粧品の紹介のほか、「メイクは誰かのためではなく、自分のためにするもの」というメッセージを伝えたいという。昨年度は「T-ACTアクション」に51企画の申請があり、37企画が承認された。申請数・承認数ともに「T-ACTプラン」は4企画、「T-ACTボランティア」は31件だった。

## データから「最適の一杯」探し

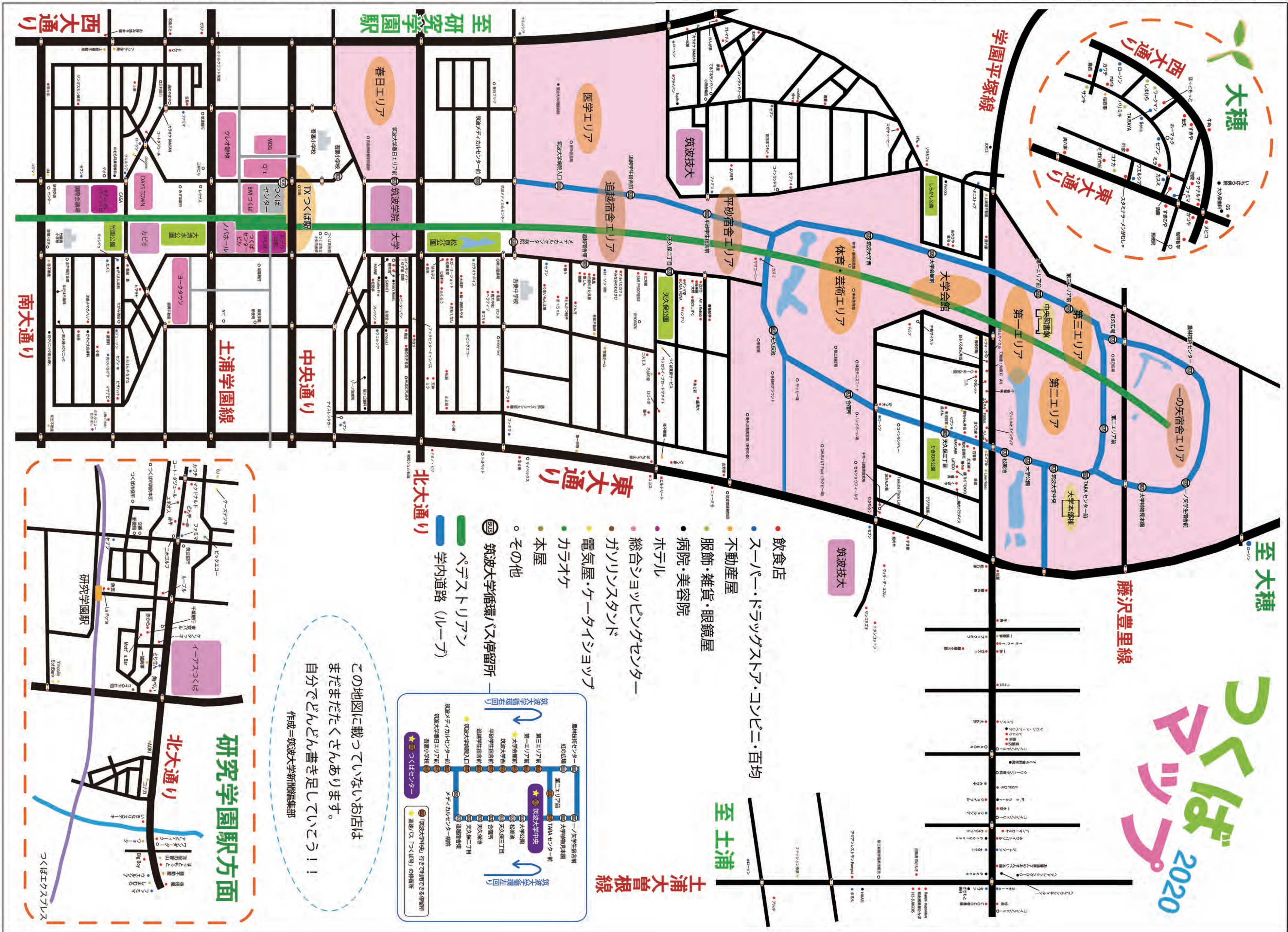
高まることを考え、T-ACTの利用を決めた。

企業が多く断られた。ようやく相手先の企業が決まったのは今年1月。「自分たちの挑戦を社会的に認めたスイーツを提案した。この企画のモデルとなったのは2017年に藤原優人さん(資源1年)が設立した、T-ACTのプロジェクトだ。つくば産のブルーベリーなどを使ったスイーツを開発し、商品化につなげていた。高校生の時にこの活動を知り、入学後に参加した。しかし、企画の大半はその時点で終了。商品開発には関与できず、不完全燃焼に終わった。その後、藤原さんにも相談した上で、企画を再スタートした。

有志による学生団体として活動するより、大学の承認を得た企画として活動することで信頼性を目指している。

今後は企業と商品の具体的な中身を詰め、11月の筑波大学園祭(雙峰祭)で販売することを目指している。







## 筑波大とSDGs



## SDGsの目標17項目

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	



(国連広報センターの資料から作成)

「誰一人取り残さない」を合言葉に、2015年の国連サミットで採択された世界共通の目標が「持続可能な開発目標(SDGs)」だ。貧困の撲滅や気候変動対策、ジェンダーの平等など17項目の大目標が定められ、地球規模での対応が進む。その中でも大学は、研究開発や人材供給、地域への貢献など多面的な役割を果たすことが求められている。研究学園都市の中核機関である筑波大の取り組みや学生たちの活動、今後の課題などを追った。

(西村大祐Ⅱ人文学類、國井俊介、後藤佳怜Ⅱ社会学類、加藤優花Ⅱ国際総合学類)

つくば市は18年6月、内「こどもの未来」など五つの柱を重点分野とする「つくば市SDGs未来都市計画」を策定し、取り組みの具体化を進めている。多くの研究機関が集積

し、外国人比率も高いつくば市だが、周辺地域の人口減少や少子高齢化、子供の貧困などの課題があり、計画は「SDGsの考えを取り入れ、持続可能な都市を目指す」ことを打ち出した。筑波大も市の一員として、全面的に協力している。その一つが、昨年4月に発足した「つくばSDGsパートナーズ」だ。持続可能なまちづくりに向け、市と共に活動する個人や団体を集めるプロジェクトで、個人会員となるには市が筑

波大と共催する「つくばSDGsパートナー講座」の受講が必要となる。講師の多くを筑波大の教員が務め、つくばの水環境や多文化共生などSDGsに関するテーマで講演することもあるという。今年3月現在、234人の個人会員と43の団体会員がいる。また、筑波大人文社会系は市の協力を受け、藝文学苑つくば教室(つくば市吾妻)で、18年から全5回の「つくばSDGsマイスター講座」を開いている。市内の経済格差問題などを紹介し、受講者には筑波大から「つくばSDGsマイスター」の称号を授与している。

青木三郎・人文社会系長は「持続可能な社会を目指すために、足元から見ていかないといけない。市と連携するなど、地域に根差したSDGsを推進していきたい」と話した。このほか、SDGs推進につながる研究開発を巡っても、市と筑波大との関係は深い。

## 筑波大の現状

学長補佐室長の池田潤教授(人文学部)に筑波大のSDGs推進の現状や強みなどについて聞いた。

(聞き手・國井俊介)

——SDGsに関する筑波大の取り組みの現状は研究者が持つ問題意識は17あるSDGsの目標のいずれかに必ず結びつくため、基本的に各自で取り組みを進めている。ただ、大学がSDGsに取り組む姿勢を見せることは学生や教



取り組みを語る池田学長補佐室長(3月6日、本部棟で)＝國井俊介撮影

員の励みとなり、重要な。そのためトップダウンで進める取り組みもある。昨年10月には筑波大が中心となって「筑波会議」を開催し、研究と教育とSDGsの関係性を世界に向けて発信した。また、SDGsへの貢献を目指し、2017年8月に「国連グローバル・コンパクト」Ⅱに加盟した。日本の国立大学として初めてだ。ウェブサイトを新設して、筑波大の研究や取り組みとSDGsとの関連を積極的

に社会に発信している。——筑波大が力を入れている取り組みは大きく分けて二つある。一つはスポーツを通じたSDGs推進だ。18年には五輪女子マラソン銀メダリストの有森裕子さんを招き、スポーツを通じた国際開発についてのシンポジウムを開催した。スポーツで挑戦と目標達成を繰り返すことで、課題に立ち向かう勇気を獲得できる。これはSDGs達成に向けても、大きな力となる。二つ目は、ダ

イバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターを中心に展開する取り組みだ。その特色は「ダイバーシティ」を男女共同参画やジェンダーだけでなく障害を持った学生や教職員への配慮も含めて広くとらえたことだ。——筑波大が持つ、達成に向けた強みとはSDGsを達成する鍵となるのは異分野融合だ。そこで、筑波大の開学以来の教員組織と教育組織を分ける「教教分離」という理念

が重要となる。これにより、教育や研究を行う際に分野の壁を越えて教員が集まることができる。装着型サイボーグ「HAL」の開発研究は、医学や工学など複数の分野が関与し、この理念を象徴している。——今後の課題は大学にSDGs推進の司令塔となる部署がなく、現在は学長が中心となってSDGsを推進している。推進室の設置は今後の検討課題だ。

## 筑波大生発のSDGs推進

SDGsは世界共通の目標だ。日ごろの学生団体の活動もSDGsの達成につながっている。将来を担う筑波大の学生たちの取り組みは多岐で、幅広い。

## 育児・研究の両立を

筑波大学育児支援会は、育児室の設置など、子育て学生への支援拡充を大学に求める活動を進める。出産や育児の負担が大きい女性や学生の研究者が、子育てと両立できる大学を作ることが狙いでSDGsの「質の高い教育をみんなに」や「ジェンダー平等を実現しよう」を表現し、無料で24時間出入り



授乳や搾乳ができる育児室を紹介する北原さん(3月11日、総合研究棟Dで)＝後藤佳怜撮影

北原有唯さん(ケア3年)が設立した。運営する育児室(3畳)は総合研究棟D3階にある。ベビーベッドが1台置かれ、授乳やオムツ替えができる。子供の安全に配慮して柔らかいマットが敷かれ、ゆりかごや椅子などの備品もそろそろ。利用登録すれば、無料で24時間出入り

北原有唯さん(ケア3年)が設立した。運営する育児室(3畳)は総合研究棟D3階にある。ベビーベッドが1台置かれ、授乳やオムツ替えができる。子供の安全に配慮して柔らかいマットが敷かれ、ゆりかごや椅子などの備品もそろそろ。利用登録すれば、無料で24時間出入り

北原有唯さん(ケア3年)が設立した。運営する育児室(3畳)は総合研究棟D3階にある。ベビーベッドが1台置かれ、授乳やオムツ替えができる。子供の安全に配慮して柔らかいマットが敷かれ、ゆりかごや椅子などの備品もそろそろ。利用登録すれば、無料で24時間出入り

## 子供にSDGs普及

2年前に発足した筑波大の学生団体「BLUE ONE BEAT」は、小中高生らにSDGsの理念や内容を広める活動に取り組む。

メンバーは6人。昨年7月からは、小学校高学年を対象にした県教育委員会などの事業「いばらき子ども大学」に計3回参加し、SDGsの授業をした。

メンバーは6人。昨年7月からは、小学校高学年を対象にした県教育委員会などの事業「いばらき子ども大学」に計3回参加し、SDGsの授業をした。

メンバーは6人。昨年7月からは、小学校高学年を対象にした県教育委員会などの事業「いばらき子ども大学」に計3回参加し、SDGsの授業をした。



自作のテキストでSDGsを紹介する学生ら＝村上達哉さん提供

SDGsを身近に感じてもらうため、児童には日常生活や地元との関連を調べ自由研究を出した。昨年9月に、筑波大サテライトオフィス(つくば市吾妻)で調査内容の発表会を開き、児童2人が発表した。阿見町から来たという児童は、誰でも簡単に実践で

SDGsを身近に感じてもらうため、児童には日常生活や地元との関連を調べ自由研究を出した。昨年9月に、筑波大サテライトオフィス(つくば市吾妻)で調査内容の発表会を開き、児童2人が発表した。阿見町から来たという児童は、誰でも簡単に実践で

## 吃音症に向き合う

筑波大の学生団体「ゆうゆう会」は、毎月第3日曜日に吃音を持つ小中高生の交流会を開く。15人のメンバーの多くも実は吃音の当事者だ。中には言語聴覚士の資格を持つ学生もあり、自らの体験を踏まえた専門的なサポート体制を整えている。取り組みを通じてSDGsの「すべての人に健康と福祉を」と「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指す。

吃音を持つ副代表の遠藤優さん(医学2年)は、過去に自分だけが吃音だと考えた子供の状態などを報告し、自身が親にかけてもらったうれしい言葉などを紹介し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。

交流会では、保護者との座談会も設けられ、メンバーたちが交流を通して把握した子供の状態などを報告し、自身が親にかけてもらったうれしい言葉などを紹介し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。

交流会では、保護者との座談会も設けられ、メンバーたちが交流を通して把握した子供の状態などを報告し、自身が親にかけてもらったうれしい言葉などを紹介し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。

交流会では、保護者との座談会も設けられ、メンバーたちが交流を通して把握した子供の状態などを報告し、自身が親にかけてもらったうれしい言葉などを紹介し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。

交流会では、保護者との座談会も設けられ、メンバーたちが交流を通して把握した子供の状態などを報告し、自身が親にかけてもらったうれしい言葉などを紹介し、保護者と一緒に子供への接し方を考える。



## 大学の役割

国連大学上級副学長で、水文学の観点からSDGs研究を進める沖大幹・東京大学教授に、SDGs達成に向けた大学の役割を聞いた。(聞き手・國井俊介)



沖大幹教授

コロナウィルスの世界的な感染拡大で実感したように、グローバル化した社会には、世界が一体となった問題解決に取り組むSDGsが必要だ。達成に向け、大学は二つの役割を担う。一つ目は知の拠点としての役割だ。専門的な知識を持った研究者が集まり、共同研究によって、社会が抱える課題に速やかに解決策

## 文化や芸術も目標にして

SDGsには「飢餓をゼロに」や「安全な水とトイレ」など、SDGsを推進できる。SDGsには「飢餓をゼロに」や「安全な水とトイレ」など、SDGsを推進できる。SDGsには「飢餓をゼロに」や「安全な水とトイレ」など、SDGsを推進できる。

## 筑波大研究者の取り組み

SDGsの理念を実現するための鍵となるのが研究開発だ。筑波大でも、温暖化の将来予測や安定した食料供給につながる農業の開発などの研究が進む。

### 環境に優しい殺虫剤

丹羽隆介教授(生存ダイナミクス研究センター)ら

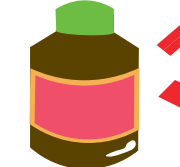
従来の農業用殺虫剤は、狙った害虫以外にも影響を及ぼすことがあった。特定の害虫にだけ作用する殺虫剤ができれば、生態系の保全にも貢献する。

丹羽教授は昆虫に脱皮や変態を促す「エクジステロイド」と呼ばれるホルモンを研究してきた。

シヨウジョウバエを用いた研究で、エクジステロイドを合成するために働く酵素Nopperabooで、複数の候補物質が見つ

### 害虫のみに作用

開発予定の殺虫剤



(丹羽教授への取材を基に作成)

## 熱中症リスクを予測

二酸化炭素(CO2)など温室効果ガスの排出削減を進めても、現状では一定程度の気温上昇は避けられない見通しだ。将来を予測し、適切な対策を取ることが今から求められる。

日下博幸教授(計算科学)

研究では、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)がまとめた第5次評価報告書の将来予測に、過去の都道府県の気象データと熱中症で緊急搬送された人数を加味して、将来の夏期(6~9月)の平均気温と緊急搬送件数を導

## 都道府県別の対応可能に

IPCCの将来予測は、温室効果ガスの排出削減対策が進まないシナリオ(RCP8.5)と効果的に進むシナリオ(RCP2.6)の二つのケースを用いた。日下教授らによると、日本国内では、北海道や東北地方北部の温暖化の進行が他地域に比べて速く、熱中症のリスクも高まる。2031~50年の近



日揮グローバル・ヤンゴン事務所長 原 健二さん

## 手紙

「中国語が話せるサッカープレイヤー」。就活中の私のキャッチフレーズだ。建学8年目の筑波大、また新しい学園都市は、自分で動けば、何かを創り出せる余地が多く残っていた。私も様々なことに首を突っ込み、全てが人生の肥やしになっているのだから、特に中国語の習得と、サッカーの世界で新しいことを始めた経験は、今の私の土台となっているのだ。ここで紹介したい。人文学類で中国史を専攻していた私は、深い考えもなく中国語を履修した。1年生の夏休み、平砂宿舎にこもって中国

4年生の夏休みからは、大学を休学して、中国山東大学へ留学した。この1年半は言葉の習得だけでなく、生活全てにおいて日本の5倍の充実度であったと言える。社会科学教員を目指していた私は、自分の知っていた「社会」が本当に狭いものだと悟り、修士への進学、企業への就職に進路を変えたのだ。一方、同好会に所属していたサッカーでは、周囲を巻き込んで「迷惑をかけて?」色々な活動を始めた。3年生の時から少年サッカークラブのコーチに熱中。教員としての仲間達も、大会が始まると積極的に参加するようになり、4部、3部と連続優勝した。このチームは今でもサッカー同好会OBの老後の楽しみとなっているはず。私はプラント建設会社

に駐在している。入社以来4か国、通算13年目の海外赴任である。どの国でも中国語には大変助けられている。学生の皆さんは、今後どんな道に進もうと、中国と関わりを持たないことはあり得ない。中国語を話せるとは言わないが、中国のことを知っておいて損はないだろう。サッカーは、どこに駐在しても地元チームや日本人チームに飛び込んでプレーしてきた。国際試合の経験だからなら並みのプレイヤーより豊富だと自負している。サッカーをやる見る、語るは生涯現役を貫くつもりだ。



市川政雄教授

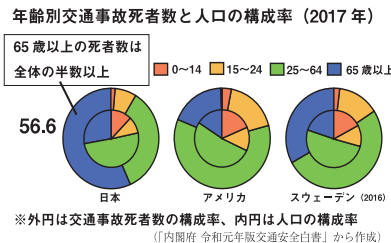
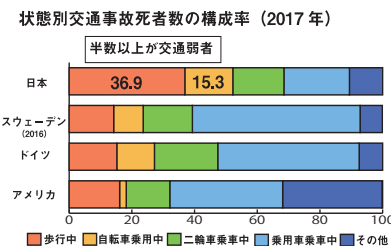
## Hello! 先端研究

運転免許の更新時に認知機能の検査が導入された後も、高齢運転者による事故は減っていないばかりか、75歳以上の交通弱者の死傷率(自転車乗車中から歩行中)の上昇を招いた。こんな分析結果を市川政雄教授(医学医療系)らの研究グループがまとめた。認知機能検査の在り方に二石を投じる研究として、大きな注目を集めている。

## 認知検査は事故抑止せず

## 科学に基づく交通政策を

具体的には、免許保有者当たりの交通事故発生率と人口当たりの事故による死傷率を70~74歳▽75~79歳▽80~84歳▽85歳以上の各年齢層で男女別に算出し、その変化を統計的手法を用いて解析した。その結果、検査対象で



※外円は交通事故死者数の構成率、内円は人口の構成率 (内閣府「令和元年版交通安全白書」から作成)

## 一歩踏み出せば世界広がる

今、私の人生を豊かにしてくれている中国語とサッカーだが、思い返せば、筑波の地で、自分から一歩踏み出したことをきっかけとして広がった世界である。皆さんも、ちょっと勇気を出して、新しいことに向かって自分から動いてみてはどうだろうか。筑波は、それが許されるところだと思っている。(昭和63年度地域研究研究科修了)



## 全日本ラート選手権

# 堀口 2 年ぶり総合優勝



斜転の演技をする堀口（1 月 26 日、つくばカピオで）

【つくばカピオ（つくば市竹園）で加藤優花Ⅱ国際総合学類 3 年、写真も】第 25 回全日本ラート競技選手権が 1 月 25、26 日に行われた。女子は筑波大の堀口文（体育系・特任助教）が直転部門、斜転部門を制し、個人総合優勝した。堀口の総合優勝は 2 年ぶり。跳躍部門では松浦佑希（体科 4 年）が優勝した。男子は高橋晴彦（平成 24 年度体育専攻修了）が直転、斜転、跳躍の 3 部門全てで優勝し、個人総合で 8 連覇を果たした。

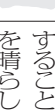
ラートは 2 本の輪を並行につないだ器具を回転させる。様々な技を繰り返して、様々な難易度や完成度などが争われた。堀口は直転部門と斜転部門の演技を事前の構成通り終えた一方、跳躍部門で披露する技を「伸身宙返り 1 分の 1 ひねり」から「伸身宙返り 2 分の 1 ひねり」に変更し、難易度を落とした。前日の練習で調子が上がらなかったためだが、大きなミスなくすべての演技をまるとめ、総合優勝につながった。堀口は「跳躍部門で自分ができる最高の技をやりたい思いもあったが、演技の完成度にこだわったことで総合優勝につながった」と話した。

### 体操



## シード権獲得目指す箱根駅伝報告会

### 陸上



第 96 回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）に出場した筑波大陸上競技部の男子駅伝チームが 2 月 18 日、つくば国際会議場（つくば市竹園）で報告会を開いた。弘山勉監督（筑波大・准教授）や本戦に出走した選手らが出席。関係者約 200 人を前に、最下位に終わった今大会の反省と今後の抱負を語った。

報告会では予選会と本戦の動画が上映され、弘山監督や選手らが参加者とともにレースを振り返った。

続いて弘山監督は「本戦出場を目指していた段階から多くの応援や支援をいただいた。今年も本戦に出場



報告会に臨む選手たちと弘山監督（2 月 18 日、つくば国際会議場）＝西村大祐撮影

## ATHLETICS AWARDS

### 学業や競技の優秀学生を表彰

リートオプザイヤー」に男子ハンドボール部前主将の山田暁央（令和元年度体育専門学群卒）が選ばれた。式には A.D. に所属する硬式野球部、男女ハンドボール部、男女バレーボール部の選手や A.D. 関係者など計約 200 人が出席した。ドレスコードはカジュアル・エレガンスで、選手たちは普段とは違うおしゃれな装いで会場に集った。

表彰対象は GPA（学業成績平均）3.2 以上を達成していることが前提。MVP は学業成績や大会成績、部への貢献などを総合的に評価して決める。▽学業成績優秀者に贈る「オールアカデミックアワード」▽大会で個人賞を受賞した選手に贈る「オールスレチックアワード」▽チーム改革などを推進した学生を表彰する「スペシャルアワード」の 3 部門と合わせ、この日は計 23 人の選手が表彰された。審査員に加わった佐藤社



MVP を受賞する山田選手（左）（2 月 22 日、ホテルグランド東雲で）

二部・A.D. アドミニストレーターは、山田選手の MVP 選出理由について「主将としてチームをインカレ優勝に導いたことや、練習時間を週 20 時間までに制限するなど練習メニューの効率化を主導したことなどを評価した」と説明した。山田選手は「周りの選手に支えられて来た一年だった。部全体を代表した受賞だと思つて、賞に恥じない行動をとりたい」と受賞の喜びと今後の抱負を語った。表彰基準の GPA 3.2 は A.D. に所属する運動部員の平均値に相当する。山田晋三・A.D. 副アドミニストレーターは「学生の身分である学業を十分にやりこみ、選手として活躍してほしい。A.D. の理念である競技と学業の両立を学生たちと共有していきたい」と話している。（國井俊介 写真も）

## 世界目指し海外チームと契約 吉田守一

筑波大男子ハンドボール部に所属する吉田守一（体専 2 年）が、1 月にポーランドのハンドボール部リーグ「タルヌフ」と正式契約した。契約期間は 2022 年 5 月まで。契約に伴い、現在は大学を半年間休学しており、部活は休部中。海外挑戦のきっかけや苦労、今後の抱負を聞いた。

（聞き手・國井俊介）



タルヌフの体育館で活躍を誓う吉田＝本人提供

——海外挑戦のきっかけとタルヌフを選んだ理由は？ 世界トップレベルの選手を目指すために、ハンドボールが盛んでレベルの高い海外リーグに身を置きたいと考えていた。1 月のアジア選手権で海外チームと対戦した。フィジカルの強さなどを武器にした世界水準のプレーを目の当たりにして、海外挑戦の気持ちが強まった。大会後、筑波大の先輩で現在タルヌフに所属する徳田廉之助選手（同 4 年）に海外挑戦を相談した。するとタルヌフのオーナーに自分を紹介してくれた。試合でプレー中の動画を送るなどしたところ、実力を認められて入団が承認された。

——タルヌフでの近況は？

レベルの高い選手が多く、なかなか試合に出場できないが、フィジカルの強さはポーランドリーグでも通用していると思う。良いポジションを確保してディフェンスをかわし、シュートを狙ってきたい。出場機会を得るため、がむしゃらに練習に励んでいる。

——海外生活での苦労することは？

ポーランドの食事は、ご飯の上に甘いヨーグルトがかかっているものなど、日本人の口に合わないものが多い。しかし、食事は体を支える上で重要なので、栄養のバランスを考え、しっかりと食べている。

## 強みのフィジカル さらに進化へ

今はまだ英語が苦手で、練習中に会話の内容を聞くことができない。ジェスチャーを使ってほかの選手と意思疎通をしている。

### ◆

吉田守一（よしだ・しゅいち）

2001 年 3 月生まれ、和歌山県出身。中学時代はバスケットボール部に所属していたが、高校ではハンドボール部に転向。3 年の時、U-19 アジアユース選手権で銀メダルを獲得。昨年度に筑波大体育専門学群に入学し、男子ハンドボール部でプレー。昨年の全日本学生選手権（インカレ）決勝で 3 得点を挙げ、14 年ぶりの優勝に貢献。1 月には最年少でアジア選手権の日本代表に選ばれた。ポジションはポスト。191 ㎝、104 ㎏。

筑波大アスレチックデパートメント（A.D.）に所属し、学業や競技で特に優れた成績を修めた学生を表彰する「TSUKUBA OWLS ATHLETICS AWARDS」が 2 月 22 日、ホテルグランド東雲（つくば市小野崎）で開かれた。昨年に続く 2 回目の開催で、最優秀選手（MVP）にあたる「学生アス

（体専 4 年）は「最下位となり、至らない部分を痛感させられる大会だった。来年に向けて個々の力を上げていき、最終的には箱根駅

### 対外活動 自粛も

### 新型コロナウイルス

【一面参照】大学側からの課外活動でのイベント延期や中止の要請を受け、筑波大の各運動部や運動サークルでも合宿や練習試合などの対外活動を見直す動きが続いている。

いずれも 3 月 7 日に開催予定だった「つくば体操フェスティバル」（体操部など共催）、「ダンス部公演」は中止された。硬式野球部が例年、春季休業中に実施

する沖縄合宿も、つくば市内での実施に変わった。各種大会の中止や延期も相次いで決定している。オリエンテーリングでは 3 月 13、15 日に栃木県で開催予定だった日本学生選手権（インカレ）が 5 月 9、10 日に延期された後、中止された。4 月と 5 月に開催予定だった弓道の関東学生選手権春季トーナメントが中止となった。

本紙の取材に対し、多くの部が要請に基づき対外試合を自粛している。学生生活課は、部活やサークルは自主的に活動を行う団体とした上で、「政府の方針を踏まえ、各部などには対応を要請している」と話している。

一方、東京五輪の準備のため、筑波大の体育施設を利用して練習を行う予定だったモンゴルの陸上選手の事前キャンプが中止になった。

筑波大は今年 2 月、モンゴル陸上競技連盟からの事前キャンプの依頼を受け、3 月中に受け入れる方向で調整していた。

しかし、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、モンゴル政府は日本に滞在歴のある外国人の入国を禁止。日本・モンゴル間の全定期便が運航を停止した。その影響で、3 月上旬に、同連盟からキャンプを中止するとの連絡が入った。キャンプにはモンゴルのマラソン選手 2 人、コーチー 1 人が参加予定だった。（加藤優花）



## 自転車 世界選手権 日本女子初 優勝



自転車のUCIトラック世界選手権が2月26日から3月1日までベルリン（ドイツ）で行われ、梶原悠未（体育P1年）が女子オムニウムで日本初となる金メダルを獲得した。

（遠子 内早紀）

写真：More CADENCE<<http://morecadence.jp>>

1種目目スクラッチでスピードに乗る梶原

### 「頂点に立ち続けたい」

#### 自転車

オムニウムはスクラッチ、チームフォア、スプリント、タイムトライアルの4種目のレースの総得点で競う。各国から代表選手1人ずつ、総勢24人が参加した。

1種目目のスクラッチでは、トラックを30周（7・5ギ）走り、その最終順位で競う。レース終盤、梶原は先頭集団に入り、残り1周で2位につけた。最後の直線でバレンティナ・メリカが抜いて先頭に立つ作戦通りにレースを進め、この種目を1位で終えた。

2種目目のチームフォアは、トラックを1周するごとに先頭の選手が1点を獲得し、全26周での総得点で争う。序盤はシヤロコフ（ベラルーシ）が先行。梶原は残り13周の時点でペースを上げた。最後の3周はすべて先頭で通過し、1位のシヤロコフと1点差の2位でこの種目を終えた。

3種目目はエリミネーション。2周ごとに最下位の選手が脱落し、最後まで残った選手が勝利する。梶原は常に集団前方にいたが、残り6人になったところでウィルト（オランダ）が梶原を追い抜こうとした。梶原はウィルトを避けようとした際にパテルノス（イタリア）と接触し、落車。すぐに別の自転車に乗り換え、レースに戻り、3位に食い込んだ。

最終種目のポイントレースは、総距離20ギのうち2ギまでの通過順で得点が与えられ、合計点を競う。梶原は3種目を終えた時点で2位に20点もの大差をつけ、暫定1位。逆転されないうつ、上位集団に位置を取り続け、日本史上初の優勝を果たした。

梶原は「金メダル獲得を、自分以上に周りの人が喜んでくれて、うれしかった。」と語った。

## 大学生活や将来を表現

### 卒業ダンス公演



「新時代—そこに僕らが映る—」最後の場面で客席側を振り向く4年生＝西平桂太郎提供

#### ダンス

【筑波大学会館で加藤優花II国際総合学類3年】筑波大舞踊研究室が主催する令和元年度卒業ダンス公演が2月5日に行われた。体育専門学群開設の授業「ダンス実技理論・実習」の受講生や卒業生、ダンス部員など300人以上が出演し、2部構成で24演目の創作ダンスを披露した。卒業生や市民ら約350人が訪れ、舞台は熱い声援に包まれた。

第1部では授業を受講した1年生76人が、大学入学からの1年間を表現した創作ダンス「a run in (アランジン)」を季節を巡る「新時代—そこに僕らが映る—」を展開。最後は全員がステージに登場した。中腰で足を開き、元氣あふれるダンスで会場を沸かせた。その後ダンス部の「遣唐使—身を以て知を求める—」などが演じられた。

第2部の冒頭では、2年生が「ぼくらは未来に出会った。」を統一テーマに、大学卒業後の進路や体験を創作ダンスで表した。スーツ姿で電車のつり革につかまる社会人を模したり、机などの小道具を用いて教師を表現するなど、計7演目を披露した。そのうち、5組の男女の恋模様を表現した演目「踊るお見合い大作戦」に出演し、ブーケをキャッチする役を演じた花村春香さん（体育専3年）は「自分の出番はあったという間に終わってしまった。来年も参加したい」と話した。

公演の最後は4年生有志による「新時代—そこに僕らが映る—」。学生たちが部活動に励んだり、就職活動を経験したりする中で、自分の個性を見つけ、新たな道に踏み出す姿を描いた。女性の出演者がほかの出演者の背中の上を渡り歩くなど、独特な構成で観客を魅了。終盤には「ぼくのこと」という曲にのり、全員が振り付けを合わせたダンスを踊った。最後は全員が横一列に並び、観客に背を向け、振り返った。会場は歓声に包まれた。

出演した佐藤航さん（令和元年度体育専門学群卒）は「楽しかったというよりも名残惜しい気持ちがある。ダンスは、表現を通じて、人に影響を与えられるスポーツだと知った」と話した。

## 小柄さ活かし頼られる存在へ



U19 ワールドカップ日本代表  
池田 沙紀（体専2年）

高校時代に2度の全国制覇を達成した。昨年度は1年生ながらもポイントガードとしてオフエンスの司令塔を務め、チームの勝利に貢献。U19日本代表にも選ばれた。身長が有利とされるバスケット界で、身長159センチの小柄な体格を生かした素早いドライブで敵陣をかくぐり、シュートを決める。ボールのハンドリングとスピードを強みにするだけでなく、どこからでも打てる正確なシュートも持ち味だ。

神奈川県出身。両親や兄のプレーを見て、小学1年の時から競技を始めた。チーム全員で目標に向かって練習することや、練習するほど試合で成果を発揮できることに

### 78キロ超級 糸田が準優勝

#### 柔道

（体専4年）が準優勝を果たした。また、21歳以上63キロ級で明石ひかる（同3年）が5位となった。

ベルギー国際大会  
ベルギー国際大会がエルスタル（ベルギー）で2月1、2日に行われ、21歳以下女子78キロ超級で糸田晴乃が優勝した。

今回復勝したこと、世界の実力が世界トップレベルだと証明できた。今回の世界選手権でも勝ち、世界のトップに立ち続けたい」と語った。

はチームの中核として活躍した。夏にはインターハイで優勝し、自身初めての全国制覇を経験した。高校3年生になり、得点力のある留學生が卒業した。「今まで上級生の留学生に頼っていたが、これからは自分が得点を取らなければいけない」と決意を述べた。

高校時代の時、監督から言われた「日本一になるためには日本一の努力をしなければならぬ」という言葉を大切にしていた。現在は、インターカレを含めた大会での優勝を目標に、基礎練習に取り組んでいる。

「これまで、周りから頼ってもらいながら、要所でシュートを決めきれずに負けてしまう場面が多かった。試合で自信を持つために、普段の練習では人一倍強い気持ちで臨んでいる。

頼られることに対するプレッシャーは感じるものの、頼られるうれしさの方が強いという。プレッシャーを楽しみ、武器にする努力家の挑戦は、これからも続く。（加藤優花II国際総合学類3年、写真も）

分の成長の糧となった。また、海外選手に比べると体格が劣っているため、組み手と技の両方の技術を磨いていきたい」と語った。

一方、明石は63キロ級で、予選リーグ2回戦までは内股、本戦1回戦では袖釣込腰で一本勝ちを決めた。2回戦はカイザー（ドイツ）と戦い、背負い投げで勝利した。準決勝では浦明澄（日本体育大）に善戦するも、延長戦で小外刈をかけられ敗北した。（北川 瑞彦）







# 新型コロナ影響広がる

## 課外活動・留学・就活……

【一面参照】新型コロナウイルスの感染拡大で大学生活にも影響が広がっている。佐藤副学長(学生担当)は、授業開始日までの課外活動でのイベントの延期や中止を要請し、多くの団体が活動を自粛した。4月以降の新生歓迎活動(新歓)の中止の発表も相次ぐ。海外留学中の筑波大生が帰国できない事例も発生し、春学期間の海外大学との交流事業が相次いで取りやめになった。また、3月に学内で予定されていた企業説明会も中止された。影響の現状を追った。(後藤佳伶)

### 新歓できず

佐藤副学長は2月28日、3月中旬までの課外活動のイベントや合宿などの延期や中止、規模の縮小を文書で要請した。3月12日には、要請の対象期間を授業開始日まで延長した。

入学式中止を受け、同日に開催予定だった新生歓迎祭も中止に追い込まれた。授業開始が4月27日まで延期され、学群・学類や部活動の新歓もできない状態だ。新生の車合郁美さん(社会学1年)は「宿舎への入居後、1人で過ごすことが多かった。友達と過ごす機会がなくなるのは残念」と話した。

全学学類・専門学群代表者会議と新生歓迎推進委員会は、共同で「筑波大

### 留学打ち切り

筑波大は春学期休業期間中に米国、カナダ、オーストラリア、フィリピンの4カ国で短期語学研修を主催する予定だったが、オーストラリア以外の研修は中止や中断となった。海外留学支援事業はほぼ100%の中止で、約10プログラムも中止や余儀なくされた。

2〜3月に実施予定だった8つの留学生受け入れ事業のうち、東南アジアや中央アジアからの受け入れ事業五つも中止され、187人が来日できなくなった。海外の大学に筑波大生を派遣する事業は一部を除き中止となり、200人以上の筑波大生が参加できな

く、外務省は3月25日、全世界を対象に「不要不急の渡航自粛」を求めるレベル2の危険情報を出した。これを受け筑波大も海外渡航中の全学生に帰国要請した。

筑波大によれば、春学期間を利用して316人の筑波大生が海外渡航していた。日本人学生は193人、外国人留学生は123人。飛行機の欠航などのため、3月30日時点で少なくとも11人の日本人学生と45人の外国人留学生が日本に戻れずにいる。

2月末から7月末までの予定でドイツ留学中だった一倉利奈さん(社会学4年)は3月22日に帰国した。現在は自宅待機中で、「不完全燃焼のまま留学が打ち切られてしまった。悔しい。自宅待機中に進路について一から考えたい。留学

### 企業説明会中止

3月1〜6日まで開催が予定されていた「筑波大学学内企業説明会」は、2月26日に中止が発表された。同説明会は筑波大主催の学内最大規模の就活イベントで、今年は540社が参加

予定だった。6日間で延べ4500人の参加が見込まれていた。就職課は、参加予定だった企業のパンフレット配布会を3月3〜9日に開催。ウェブサイトで企業側から伝えられた採用情報などを随時掲載する。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターの五十嵐浩也前セン

ター長は「学生が多くの企業と直接話せる貴重な機会が失われたのは残念だ。今はウェブでの情報発信を強化したい。不安な学生は、就職課の相談窓口も利用してほしい」と話した。



パンフレット配布会に参加した学生ら＝就職課提供

## 授業は濃厚接触の温床

新型コロナウイルスは感染拡大が続く中、学生はどう過ごせばよいのか。災害・地域精神医学が専門の太刀川弘和教授(医学医療系)と公衆衛生学が専門の堀愛助教(同系)に聞いた。

(聞き手・後藤佳伶)



堀愛助教

## 生活リズムの乱れ注意

もはや避けられないなかで、1人暮らしの大学生は生活リズムが崩れやすくなる。人間は、他者との会話や触れ合いでストレスを解消したり感情を制御したりする。人に会わず家に籠もる生活が続くと、それが難しくなり、うつ状態になる可能性も。これを防ぐには、直接



太刀川弘和教授

感染症の大規模な流行は戦争や自然災害と同様、精神的な問題の原因になる。授業開始が延期になり、人が集まる場所へ出るこ

また、社会が混乱している災害時には、ウェブ上に正確な情報が流れやすいため、公的機関の出す情報を適切に入手し、情報過多でしんどくなった時は、ネットやテレビから一度離れることも有効だ。

新型コロナウイルスは感染しても若年層は重症化する割合が非常に低く、若者が知らぬ間に感染源となることが懸念される。集団感染の連鎖を防ぐため、厚生労働省の専門家会議が示した▽換気の悪い密閉空間▽多くの人が密集▽近距離で

の会話や発声――の3条件が重なる場所に行くことは避けるのが好ましい。大学は国内外から学生や研究者が集まる人の出入りが激しい場所だ。閉鎖された教室で長時間行われることが多い授業やオリエンテーションは濃厚接触の温床になる。不特定多数が同じ箸や食器を使用する会食もリスクがあるため、新歓などは開催方式の変更が求められる。

## 図書館飲食スペース拡大

### 利便性向上求める声を反映

中央図書館内の飲食可能スペースが2月3日から試験的に拡大された。新たに3〜5階のラウンジでの飲食と閲覧室、研究個室、集会室への飲み物の持ち込みが可能になった。パソコンや視聴覚機器、1階の東京教育大学旧蔵書周辺は飲食禁止を継続する。利用状況に問題がなければ正式に拡大される予定だ。

持ち込み可能な飲み物は、倒しても容易にこぼれない密閉容器に入ったものに限り、ペットボトルや水筒は可だが、びん、缶、紙パック容器や蓋付きカップ類は不可。

チャットルームとセミナリー室への飲み物の持ち込みが認められた。今回のスペース拡大について附属図書館は、長時間滞在する利用者が快適に過ごせるよう配慮したという。ただし、利用が不適切で食べこぼしなどがある場合、資料の汚れなどに加え、書虫やネズミの被害が生じる恐れがある。このため、同館は飲食可能エリアのラウンジとリフレッシュコーナーに掃除用具を設置し、利用者に活用を促している。

ラウンジの利用者は「図書館の中で軽食が取れるのはありがたい。(飲食の)スペース拡大は理にかなっていると思う」と話した。(梅津拓人)比較文化学類2年

分野を超えた学生交流 学問分野の壁を超えて学生研究者が集い、成果を発表する「みんなの学会」が2月15日、ノバホール(つくば市吾妻)で開かれた。筑波大や聴覚、視覚障害者が通う筑波技術大など市内の学生らがつくる「つくば」同館は飲食可能エリアのラウンジとリフレッシュコーナーに掃除用具を設置し、利用者に活用を促している。

「誰でも楽しめる学会」という理念のもと、会場では障害への配慮として、手話による同時通訳や文字通訳を映すスクリーンが用意された。延べ約150人が来場した。成果発表では生物や建築など異なる分野を研究する学生4人が登壇した。筑波



まさなら画用紙に向かう子供たち。お母さんの顔を思い浮かべ、そっくりに描けるように黙々と手を動かす。

小学生対象の似顔絵を描くイベント「筑波大生と似顔絵を描こう!」が2月に開かれ、会場のつくば市役所には定員を超える23人が集まった。参加者に似顔絵を教えるのは、主催した筑波大生らの団体「つくばあーとどあ」の面々だ。

「リビングよ民が交流できたりするイベントを開催するのが目標だ。団体設立のきっかけは昨年の筑波大学園祭(雙峰祭)で開かれた「にがえやさん」。芸術専

イベントは昨年11月から準備を始め、会場探しやボスター制作、似顔絵の見本作成などに取り組んだ。似顔絵を描くコツをまとめた冊子をつくり、短時間で描く練習

イベントではまず、メンバーが10分で似顔絵を描くパフォーマンスを見た。また「福笑い」を用いて、顔の輪郭を図形に簡略化して捉えることと、目や口、鼻など顔のパーツを正確に配置する大切さを分かりやすく教



参加者と交流するメンバー(2月24日、つくば市役所で)

「今後もし子供たちにとってアートの入り口になるようなイベントを開催したい」と話す大森さん(芸専3年)は「(イベントのねらいは)絵の上達ではなく、楽しんで自由に絵を描いてもらうこと」と語る。

似顔絵を通して「どこでもドア」のようなアートの世界への入り口を作る。その糸口になる活動が動き始めている。(梅津拓人)比較文化学類2年、写真も。16面に関連

## つくばあーとどあ

### 似顔絵通してアートの世界へ

イベントは昨年11月から準備を始め、会場探しやボスター制作、似顔絵の見本作成などに取り組んだ。似顔絵を描くコツをまとめた冊子をつくり、短時間で描く練習

似顔絵を通して「どこでもドア」のようなアートの世界への入り口を作る。その糸口になる活動が動き始めている。(梅津拓人)比較文化学類2年、写真も。16面に関連



## Who's Who?

アイドルコピーダンスグループ「Bombs!」の創設者

## 深津 里佳 さん (医学4年)



雙峰祭のステージに立つ深津さん＝本人提供

昨年度の筑波大学園祭(雙峰祭)の雙峰祭ランプリ・パフォーマンス部門で最優秀賞を獲得したアイドルコピーダンスグループ「Bombs!」の創設者。結成1年目にして、大学生によるアイドルコピーダンス大会「UNIDOL(ユニドル)2019-20 winter」の決勝戦に出場し、グループを全国5位に導いた。Bombs!の活動のかたわら、医師になるための勉強にも励む。

アイドルコピーダンスは、プロのアイドルの楽曲に合わせて踊るパフォーマンス。歌は歌わず、歌詞に合わせて口を動かして、アイドルさながらの表情や仕草で観客を楽しませる。普通の大学生が、本物のアイドルのようにステージで誰かを笑顔にできることが一番の魅力と語る。根っからのアイドルオタクだ。高校2年の時には「仮面女子」というグループに夢中になり、地元の群馬県から東京・秋

葉原の劇場へほぼ毎週通い詰めた。目立たなかったメンバーが努力して人気を伸ばしていく姿に感動し、華やかなステージで輝くアイドルに憧れた。大学1年の時、筑波大で活動していたアイドルコピーダンスグループ「爆走☆ペダストリアン」に加入。アイドルと同じようにステージで踊ることがうれしく、練習に打ち込んだ。その年のユニドル関東予選に出場したが、グループは人数減少で2018年3月に解散した。その後しばらくはアイドルコピーダンスから離れ、医学類の試験や課題に追われていた。だが「もう一度ステージに立ちたい」との思いが募り、大学2年の18年6月から2カ月で約20人を集め、雙峰祭限定のグループ「アイコプロジェクト」として参加した。ほぼ全員が初心者な上、短期間の練習でステージを完成させることは難しく、チームとして経験を積むことの

## アイドルに憧れステージに「相手のことを考えて振る舞う」

重要性を実感した。正式に団体を立ち上げようと決意し、SNSや人づてに呼びかけてメンバーを集めた。そして昨年3月、アイコプロジェクトのメンバー5人を含む14人でBombs!を結成し、リーダーとなった。習月に新入生が加入し、計25人で本格的な活動を開始した。大会前の練習は週4回。ダンスや表情の練習だけでなく、SNSでの宣伝や衣装製作など業務全体を指揮した。大会に出ないメンバーにも衣装や広報を担当してもらい「Bombs!の一員として、頑張っているメンバーを支えてほしい」と伝えた。ステージで意識するのは「常に見られている」ということ。普通の大学生でも、ステージに立てばパフォーマンスだ。観客に思いきり楽しんでもらうため、曲の間も気を抜かない。「常に相手のことを考えて振る舞うことは、パフォーマンスとしても

医師の卵としても重要。この活動が将来に役立つのか悩む時もあったが、自分なりに意味を見出してから前向きになった。関東予選は12月、新宿ReNY(東京都新宿区)で開かれた。全国五つの地区予選の中で最も決勝進出が難しいといわれる激戦区だ。結果は12組中2位。念願の決勝進出を果たした。STUDIO COAST(東京都江東区)で行われた決勝戦では、全国から集まった観客約3700人の前で4曲を披露し、結果は5位となった。入賞は逃したが、結成1年目にして大きな存在感を見せた。先月でリーダーは引退し、2年生に引き継いだ。「今後は病院実習なども始まり忙しくなるが、6年生までステージに立てるのは医学生の特権。Bombs!がこの先何年も続く素敵なグループになるよう、ずっと支えていく」と語った。(後藤佳怡)社会学類3年

次号は  
5月25日(月)  
発行予定です

## 編集後記

はすっかりしんどいになりました。ただ、暗いニュースだけでもありません。筑波大が指定国立大学法人への指定を目指し、文部科学省に申請しました(2面)。

## 編集・発行

■筑波大学新聞編集委員会

▽委員長 土井隆義(人文社会系・教授)社会学

▽副委員長 佐藤勤(学生部長)▽委員 貫谷純子(生命環境系・教授)果樹園芸学、竹中佳彦(人文社会系・教授)政治学

■筑波大学新聞編集部

▽編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授)サイエンスコミュニケーション

▽編集長 西村大祐(人文学類3年)▽副編集長 後藤佳怡(社会学類3年)加藤優花(国際総合学類3年)ほか編集部員9人

発行所 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版

## 卒業式・大学院学位授与式



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、規模を縮小して開催された＝筑波大広報室提供

1面へ

## 打楽器アンサンブル 筑打!



さまざまな音色の楽器で観客を楽しませるメンバーたち(2月2日、つくばカピオで)＝遠子内早紀撮影

5面へ

## 箱根駅伝報告会



笑顔を見せる弘山監督(手前中央)と選手ら(2月18日、つくば国際会議場で)＝大和祐菜撮影

12面へ

## つくばあーとどあ



似顔絵描きに熱中する子供たち(2月24日、つくば市役所で)＝梅津拓人撮影

15面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活